

2022年6月23日



静岡労働局 局長 石丸哲治 様
静岡地方最低賃金審議会 会長 畑 隆 様

全労連東海北陸地方協議会

議長 増川

長引くコロナ禍と物価高騰のもとで最低賃金1500円、 全国一律制などを求める要請書

日頃から労働行政の発展に尽力されていることに敬意を表します。

2021年の最低賃金額の改定では、最高の東京都が1,041円、最低の高知県と沖縄県は820円で221円もの大きな地方間格差を生んでいます。東海北陸地方内だけで見ても97円もの開きがあり、1年間で174,600円（年1800時間）収入差となります。

全労連と地方組織がとりくんでいる「最低生計費試算調査」によれば、1人の若い労働者が自立して人間らしく暮らすには、全国どこでも月額24万円、時給1,500円以上（月150時間）が必要であり、都市部と地方での最低生計費の差はほとんどないことを明らかにしてきました。私たちは、労働者の所得を底上げし地域経済をあたため、人口減少社会に歯止めをかける確かな道として最低賃金法を改正し、誰もが8時間働けば人間らしい暮らしができる全国一律最低賃金制度の創設と、時給1,500円以上を求めていきます。

最低賃金の現行ランク方式（A～D）は、制度的に限界にきていることは明らかです。最低賃金の地方間格差が労働人口の都市部集中、地域の過疎・高齢化、地域経済の疲弊、さらに、日本の低賃金の温床にもなっています。日本弁護士連合会を始め全国の多くの弁護士会が現行制度に懸念を表明し、自民党においても最低賃金一元化推進議員連盟が旺盛に活動しています。全労連がとりくむ全国一律最低賃金制の法制化を求める国会請願署名は、これまでに自民党をはじめ119名（現職）の国会議員が紹介議員として名前を連ねています。

先進国では最低賃金が継々と引き上げられています。長引くコロナ禍のもと、フランスは、2021年1月に10.25ユーロに引き上げられましたが、さらに同年10月から10.48ユーロ（1,473円）に引き上げされました。ドイツでは、2021年7月に9.60ユーロに引き上げられましたが、2022年1月に9.82ユーロとなりました。さらに、7月には10.45ユーロへ引き上げられ、10月から12ユーロ（1,687円）に引き上げられます。イギリスでも、2021年4月から23歳以上の労働者の最低賃金が8.91ポンドに引き上げられましたが、さらに2022年4月から9.5ポンド（1,551円）に引き上げられました。さらに、アメリカでも今年1月から連邦最低賃金が10.95ドルから15ドル（2,015円）に引き上げられるなど多くの先進国で大幅引上げが実施されています。とりわけ急激な物価高騰が国民の暮らしを直撃しているも

とで、日本でも大幅引上げは待ったなしの課題です。

最低賃金を引き上げるためには、中小・零細企業支援がセットで必要です。政府による助成や社会保険料の減免、公正取引の実現で賃金引き上げに伴う単価引き上げが適正にできるようにすること、経済活動において東京や国外にほとんどの利益が流出するのではなく、地域で可能な限り循環させとりくみが必要です。

以上の点から、今年の最低賃金改定審議にあたって下記の項目について強く要請するものです。

記

1. 地域別最低賃金は、1,500円以上に引き上げて、地域間格差を是正すること。
2. すべての働く人に人間らしい生活を保障するために、最低賃金法を改正し、生計費原則に基づく「全国一律最低賃金制度」を実現すること。
3. 最低賃金引き上げに欠かせない、中小企業支援策の抜本的拡充を国に対して求めるこ^とと。
4. 最低賃金審議会労働者代表委員に関しては、多様な意見が適切に反映されるとともに、最低賃金の影響を大きく受ける非正規労働者と4割以上の女性を任命すること。また、公益委員についても、最低賃金の改定について専門的知見を備えた委員の選任をおこなうこと。
5. 専門部会を公開するとともに、女性や非正規労働者が意見陳述をおこなう機会を設けること。また、議事録を完全に公開すること。
6. 最低賃金審議会の日程や委員の改選などについて、ホームページだけでなく情報提供を求めるものに適宜おこなうこと。
7. 大幅に増加する労働行政の需要に対応するために、その土台となる公共職業安定所や労働基準監督署など都道府県労働局の正規職員を増員し、労働行政の体制拡充・強化をおこなうこと。

<全労連東海北陸地方協議会加盟組織>

富山県労働組合総連合	議長	中山 洋一
石川県労働組合総連合	議長	桶間 諭
福井県労働組合総連合	議長	鈴木 孝典
岐阜県労働組合総連合	議長	廣瀬 政美
静岡県労働組合評議会	議長	菊池 仁
愛知県労働組合総連合	議長	西尾美沙子
三重県労働組合総連合	議長	臼井 照男